

金属×挑戦＝革新 金属で未来を拓く・創る！



△ 入会案内

本会は、金属及びその関連材料分野の学術および科学技術の振興を目的として、学術誌や学術図書の刊行、講演会や講習会の開催、調査・研究、表彰・奨励の事業を行っています。基礎、応用に関わらず、社会基盤材料をはじめエネルギー材料、電子・情報材料、生体・福祉材料、材料と社会、プロセス開発等の分野でご活躍の研究者、技術者、学生の皆様、当該分野に関心のある方々の入会をお待ちしております。若手や学生の会費は他の半額以下となっています。

△ 会 費

会員種別(個人会員)	入会金(円)	年会費(円)
正員・ 外国一般会員	31歳以上	1,000
	30歳以下	5,000
学生会員・外国学生会員	不要	4,000

会員にはまてりあが配付されます。また、外国会員の方はまてりあ、会誌、Materials Transactionsのいずれかを選択できます。シニア層の会員には「終身会員」「永年会員」「シニア会員」の制度があります(詳しくはホームページの「会員案内・入会案内」)。

△ ユース会員 (小中高生、高専専科1年生以下、大学3年生以下)

- 入会金・会費は不要です。入会には保護者または教員の同意が必要です。対象上限の学年まで自動継続されます。
- 次のような特典があります。ユース会員証の発行、まてりあ電子ジャーナルの無料閲覧、講演大会への無料参加(発表は有料)、ユース会員向けイベントの無料参加、金属学会刊行の電子書籍の無料閲覧、会員価格でのイベント参加や書籍購入など。

△ 維持員 (団体会員)

- 企業等の法人や団体は維持員として入会できます。
- 維持員の社員や職員は本会主催の各種イベント等の参加や本会発行の刊行物の購入が会員価格となります。
- 年会費:一口5万円(複数口の申し込み可)

日本金属学会事務局

〒980-8544 宮城県仙台市青葉区一番町1丁目14番32号
 フライハイトビル2階
 TEL:022-223-3685 FAX:022-223-6312
 Email: member@jimmm.jp

会 員 特 典

I 刊行物購読・論文投稿

- 会報「まてりあ」の無料提供
- 機関誌や教科書等の刊行物の会員価格での購入
- 電子化した既刊図書類の無料閲覧(一部を除く)
- Materials Transactionsの投稿料の割引
- 米国ASM Internationalの刊行物を会員価格で購入可能

II イベント参加

- 講演大会への会員参加費での参加及び登壇費の免除
- 本会主催や協賛のセミナー・シンポジウム・講習会等への会員割引価格での参加が可能
- 各支部の行事に優先的に参加が可能
- 鉄鋼協会の講演大会に会員料金で参加が可能

III 研究支援

- 各分野の専門家集団で構成される分科会の活動に参加が可能
- 最先端の研究を討議する研究会が開催する研究集会に参加が可能
- 研究会や若手研究グループの設置が可能
- 研究助成の受給が可能

IV 交流促進

- 講演大会や研究集会での情報交換や人脈の形成が可能
- 講演大会の懇親会に参加が可能

V キャリア形成・ステータス向上

- 本会主催の企業説明会に参加が可能
- 多様な表彰・奨励を受けることが可能
- 本会外の表彰への推薦が可能

入会は
こちらから



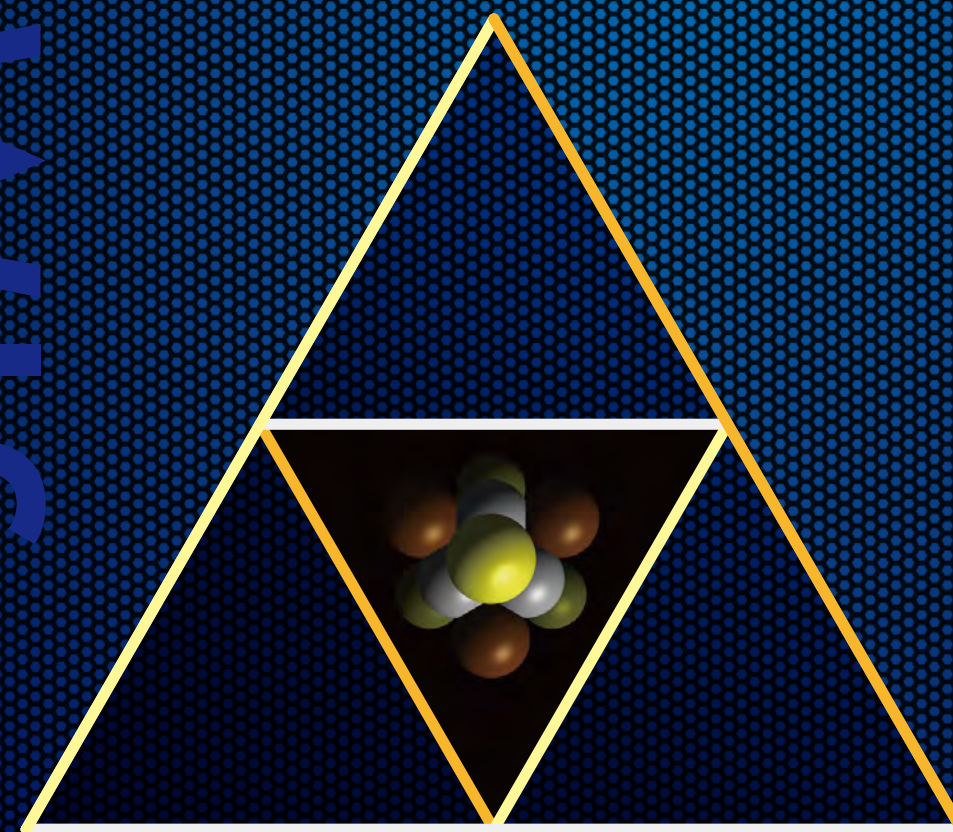
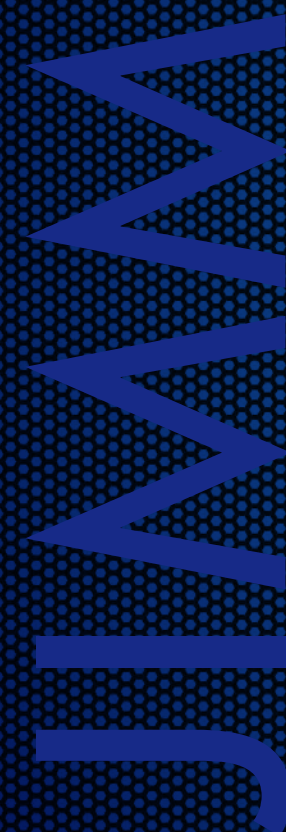
URL: https://jimmm.jp/member/member_info.html



JIMM

The Japan Institute of Metals and Materials

公益社団法人
日本金属学会



The Japan Institute of Metals and Materials

<https://jimmm.jp/>

🔍 日本金属学会

日本金属学会について

公益社団法人日本金属学会は、『金属に関する理論ならびに工業の進歩発達をはかること』を目的とした学術団体として、本多光太郎先生のご提唱により1937年(昭和12年)2月14日に創設され、2013年(平成25年)3月1日に公益社団法人に移行しました。本会は現在に至るまで、金属及びその関連材料に関する研究成果を世界に発信する学会として活発な活動を展開しています。近年は、社会基盤材料をはじめエネルギー関連材料、電子・情報・光関連材料、生体・福祉材料、材料と社会、環境・リサイクルプロセスや計算科学等へと対象分野も拡大し、基礎から応用まで幅広くカバーする材料科学・材料工学の中心的学会となっており、材料分野のリーディング学会として活動しています。



関連する新学術(学術変革)領域研究

日本金属学会に関連した以下の研究が現在進められています。



ミルフィーユ構造の材料科学

(2018年度～2022年度)
<https://www.mfs-materials.jp/index.html>



ハイドロジェノミクス

(2018年度～2022年度)
<https://www.hydrogenomics.jp/index.html>



ハイパーマテリアル

(2019年度～2023年度)
<https://www.rs.tus.ac.jp/hypermaterials/index.html>



ハイレントロピー合金

(2018年度～2022年度)
<https://highentropy.mtl.kyoto-u.ac.jp/>



機能コアの材料科学

(2019年度～2023年度)
<https://www.core.mp.pse.nagoya-u.ac.jp/>



超温度場3Dプリント

(2021年度～2025年度)
<http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/super3dp/>

など

機関誌

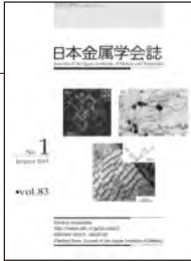
まてりあ

会員の情報交換や啓発・教育を目的として、様々な材料の基礎から応用に至るまでの研究開発を総合的に支援する日本金属学会の会報誌です。主な記事として「入門講座」「講義ノート」「解説」「最近の研究」があります。



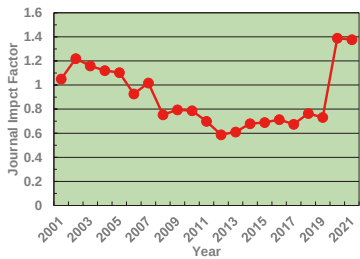
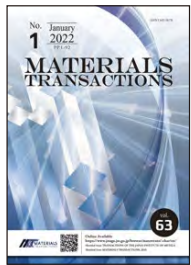
日本金属学会誌

1937年に創刊し、金属・材料に関する幅広い分野の研究成果を対象とする貴重な文学術論文誌であり、研究成果を日本語で情報発信しています。投稿は無料です。



MATERIALS TRANSACTIONS

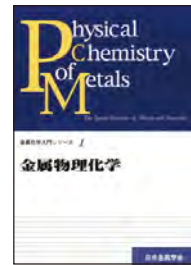
1960年にTransactions of The Japan Institute of Metalsとして創刊し、2000年に材料系学協会との共同刊行を開始してMaterials Transactionsと誌名を改め、現在は材料系14学協会が参加している金属・材料に関する研究成果を広く国内外に情報発信している英文学術論文誌です。



Materials Transactionsのインパクトファクターの推移

図書類

金属化学入門シリーズや現代の金属学といった教科書や金属データブック、金属工学シリーズなどの専門書を刊行しています。会員は電子化した図書類の大部分を無料で閲覧できます。



調査・研究事業

分科会

関連が深い専門分野の研究者や技術者が集う分科会を2019年に再編し、9分科で「調査研究委員会」の活動を行っています。先端領域や学際的領域の研究を促進する目的で「研究会」や「若手研究グループ」が活動しています。

フロンティア研究助成

金属及びその関連材料分野の学術研究及び技術研究の発展や若手研究者の育成や奨励を目的に研究費を助成しています。

国際連携

米国、韓国等の海外の学協会との交流、研究者の相互派遣や国際会議の開催を行っています。インド・環太平洋諸国との連携を強化するために、秋期講演大会で「国際セッション」を開催しています。

講演大会

最新の研究成果を発表・討議するとともに、会員間の交流を図ることを目的として、毎年春秋2回の「講演大会」を開催しています。一般セッション講演やポスターセッション講演の他、特別講演やシンポジウム講演、日本鉄鋼協会との共同セッション講演、高校生・高専生ポスター発表等を合わせて約900件の講演があり、約1500名が参加しています。会員間の交流を図るために懇親会を開いています。また、講演大会は日本鉄鋼協会と同じ日程・場所で開催しています。



セミナー・シンポジウム

専門知識の普及や啓発、教育を目的として「セミナー」「オンライン教育講座」「シンポジウム」や「講習会」を開催しています。国際会議も25件を本会主催で開催しています。



過去のセミナー

「熱力学と組織形成の基礎」「高温酸化腐食の基礎」「転位を知る」「材料の力学特性向上を目指して」「状態図および相変態の基礎と応用」「状態図・相変態の基盤と実践的ノウハウ」「半導体における点欠陥と拡散」など

表彰・奨励

優れた研究や技術開発の成果を挙げた者や当該分野の発展に寄与した者の表彰や今後の貢献が期待される者の奨励を目的として、毎年17件の表彰・奨励を行っています。



各種賞

学会賞、村上記念賞、技術賞、増本量賞、谷川・ハリス賞、功績賞、研究技能功労賞、村上奨励賞、奨励賞、技術開発賞、金属組織写真賞、論文賞、新進論文賞、まてりあ賞、優秀ポスター賞など

支部活動

全国の8支部も活発に活動しており、各支部で独自に講演会・講習会(支部講演大会、本多光太郎記念講演会、セミナー)、研究会、見学会などを実施しています。